

# 住み慣れた村で安心の生活 共に支え合う地域社会づくりを目指します



## 健康づくり

近年、日本中が生活習慣病のために、「生活の質」「医療費」「介護保険」と大変な問題を抱えていることから、40歳以上の方を対象に「特定健診・保健指導」を実施しています。また、小学生を対象とした親子健診、健康教室を実施したり、若い世代から糖尿病などの生活習慣病予防事業を実施していき、将来の介護予防認知症予防につながるための取り組みを進めています。

## 障がい者福祉

西原村では「たんぼほハウス」を中心として、障がいをもった方の自立支援を目的に活動しています。皆がそれぞれのペースで農作業や清掃作業などを行い、陶芸教室やキャンプなどを開催して、保育園児や小・中学生とも交流を深め地域に根ざした活動を進めています。

障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に立ち寄れる地域交流の場としても開放されています。

## 高齢者福祉

いくつになっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、支え合いができる村づくりを目指して活動に取り組んでいます。特に「認知症対策」に力を入れており、元気高齢者のミニサービスや地域座談会などで、認知症に関する知識と予防等について情報を提供しています。

自分たちに何ができるかを皆で話し合うことで、支え合いの意識をたかめるような機会を設けています。

## 児童福祉

にはら保育園内に併設されている「子育て支援センター」就学前の幼児とその家族が気軽に訪れ、同じように子育て家庭への育児支援、子育てサークルの活動支援を行い、地域全体で、子どもが健やかに育つ環境づくりを支援しています。

また、働きながら子育てをしている保護者の方が、安心して働けるように放課後や長期休暇中に児童を預けられる「学童クラブ」という取り組みも行っています。宿題をしたり、指導員と学校での出来事を話したり、友達と遊んだり、放課後から帰宅までを安全に過ごせる、家庭に代わる存在となっています。